



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、正直に言うと原爆を甘くみていました。ですが今回の特別授業を受講してみて原爆を甘くみてはならないということが分かりました。先生が途中鼻息で風を表現し、少し間を空け、「ブッカーン」と大きな声で言った時は本当におどろきました。けれど被爆者はこれよりも大きな音を間近で聞いたと思うと「先生の声」というひびきでどれだけ安心するでしょうか。実際に行った人々は、これよりおどろくというよりも、まうぶ、不思議で「いつかおどろいた」と思っています。途中お話を聞いた被爆者の姿を実際に見てみたいと思いました。先生の父親が言っていたようにまた世界は原爆を甘くみているから博物館でも優待展共されていたのではなにか。ひびがたれさがらたなと聞いた時は背中あたりが「ゾク」としました。私は今、この瞬間生きていられてよかったと思っています。原爆で亡くなった家族でなくても亡くなった方々の分まで笑顔で暮らしていきたいです。

そして、世界にまたウランが合計で1万5000発もあると聞き、ウランなどを使わない、名前もでないような平和な国、世界でいてほしいと、今回の原爆先生の特別授業を受講して思いました。本日はお忙しいなか私達のため来てくださり本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

ぼくは、石田さんの授業を受講して、戦争の見方がかわりました。いままでは、本やTVでみたことが完全な実体験だと思っていましたが、それはまちがいで、実際それを^{体験}した人の貴重な話を聞けておりました。

そして、原子爆弾の見方も変わりました。1kgのウランで広島市を^{40kg}がけの山にしてしまい、40kg熱^{40kg}えていたらどうなっていたらう、と想像しただけで、島はだかたります。

また、原子爆弾の方々のせうがたか、まごいな-と思いました。人間のようにやない^次てせうなれたり、気づく間もなく消失したり、後遺症が後からでてきてせうなったり、本当にかわいそうでした。

このように、とんでもない破皮かい力をもった原子爆弾は、もう作られてほくないし、落とされてほくないです。それと、石田さんのお父さんの、「きれいすぎる」という発言は、すごいにきました。原爆の体験者が減っている今、しっかりと原子爆弾者の人たちの話を聞き、完全にさいげんしてほしいと思いました。

一生おんせんにくらしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10 / 31

今までテレビでしか聞いたことなかった、原爆... 今の私たちには
あまり関係はないなと思っていましたが、まさに今、私たちは北朝鮮の核ミサイル
の脅威にさらされている真、只中ではありませんか。今日、原爆の影響力を知り、
恐怖を覚え、二度と起こしてはならないものだと、いうことを深く知った私は、
被爆者達が何故強く核兵器廃絶を訴えたのかということがよく分かり
ました。10月上旬に発表されたノーベル平和賞ではICAN(^{<International campaign to abolish nuclear weapons>}核兵器廃絶キャンペーン)
が受賞し、被爆者の方々の大きな希望、または喜びになったことかと思えます。
さらに原爆という人工のものが太陽の表面温度を超える7000度(℃)のものを
つくりあげたことに恐怖を感じています。なぜならば、当時のアメリカの技術
がこの原爆ぐらいのものだとしたら、日々技術は高まっているはずで、アメリカ
の技術は進歩しているといえるでしょう。さらに、北朝鮮の核兵器も同様で
進歩し続けているでしょう。このスッ国が戦争を起したら、日本や韓国、
それに中国はもちろん、もしかすると世界中に被害を及ぼしかねませ
ん。核というものの破壊力がどれほど強いかわかるものは、私にはほゞモリ
とは分かりませんが、今回の話を聞いて広島市での被爆率は5人に1人だった
こと、死亡率は40%で、鉄も溶かした熱だったということは分かりました。
7000℃の少年、これはリトルボーイがうみ出した熱の7000℃を題にして7000℃
の少年になったのではないかと思います。将来を担う者として、私は将来、
国連大使または外交官となって、世界の平和や核兵器について議論を行いたい

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

と思いました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください 池田直徳先生へ

原爆先生の授業をして、とても原爆のことがこわくなりました。先生のお父様のビデオを見て、とても口であらわすことのできないくらい悲しくて、こわかったことがとてもわかりました。自分は、あまり原爆のことは、知らなかったし、自分とはぜんぜんつながりのない話だと思っていました。が、授業をして、自分にも知っておくひつ用があると思いました。授業でやった時は、かわいそうなどしか思わなかったけれど、近くにした人が話す時、とてもこわく、自分におこたらどうしようなど強^こ心にひびきました。「体が赤くはれ、皮がふれ下がっている人達はとにかく痛く「兵隊さん、助けろ」と言っているというところがとても悲しくて、かわいそうでした。やけている人達のことを考えると、痛くてはやく痛みからでたい気持ちでいっぱいだったのでしょ。兵隊さん達は、目の前で苦しんでいる人がいるのにどうしようもできなくて、死んでしまうのは、とても悲しかったです。先生のお父様が教^おえてくれた原爆のおそろしさを知ってほしいという思いをこれからものこして、(ほかの人にも教えていく)ください。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/31

原爆先生のお話を聞いて私が一番最初に思ったのは「おそろい」ということでした。広島や長崎に原子爆弾が投下され、みんな焼け野原になってしまったのはずっと以前から知っていました。本でも読み授業でも習い、お母さんと原爆の事について話した事もありました。しかし、こんなにも長い間、こんなにも深く原爆について聞き、考えた事はありませんでした。原子爆弾というのはおそろい、ずっと前から知っていたのに、改めてそう感じました。人が焼けたたれ、人とは思えないむごい姿となる。そんな事は今の私達は一切体験したことも見たこともなく、むしろありえない事です。しかし、何十年前、そのありえない光景を目にした人がいたということ、それを体験した人がいて、たくさんの人々が苦しみながらせくなされたということは事実、決しておそれるべきではない事実です。私は授業の後に考えました「原爆が一番おそろいのは何だろう。それは人がむごい姿になってしまったとか残った景色が広がったとか、いよりも、これが自然災害でないことだと思います。このようなおそろい事をしたのは人であり、戦争さえしていなければ防げたことなのに、やられてしまった。なんで同じ人類同志が争い殺し合わなくてはならなかったのか。そしてなぜ、こんな事があつたりに、まだ、原子爆弾が昔よりも強くなって存在していて、なぜまだこの世に武器があるのか、どうか一刻も早くそれらがなくなり二度と戦争が行なわれませぬように、それが私の願いです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆。それは、現在の子供達が知らなくてはならない、何よりも未来の「平和」を築きあげるための現実だと、今思う。もともと「原爆」という名前は知っていた。よく悪いことは分かっていたけど、たけと広島と長崎が原爆が落とされたこと、そして今もなお、被爆者の方々が苦しんでいることくらいは知っていた。そんなこと一部を知っていただけで私は全てを知っているような気持ちだった。けれど、今こうして紙にむかって手を進めている自分はそんな過去の私を情けなく思っている。原爆のこと、もちろんその事を知るのも大切。しかし、本当に大切なこと。それは、人々の思いにふれることだと思う。私は、今、夢がある。それは未来。人々が幸せな地球になること。内戦・紛争をやめ、人々が言葉で思いを伝えるようになること。原爆はそんな私の思いを強くしたものだ。一刻でも早く、あのような人々ももう二度と出ないでほしい。もう「戦争」はいけない。そんなことが分かっていてもやってしまう「戦争」。そのようなことを予防するには戦争の悲惨さを後世の人々に伝えなければならぬ。そのような役目を一体誰が果たすのだろうか。戦争からはやくも70年以上。戦争で幸運にも生き残った人達ももうそろそろ七くたうられてしまうのだろうか。たとえしたら、後世に伝えていくのは私達の役目だ。私は今に生まれて良かったと思う。もう戦争はしない。戦争をしてしまうような国に日本をしてはいけない。そんな事を思いついたら、私は鉛筆を置き願った。「未来が今よりもっと平和であってほしい」と。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、この話を聞いて心をうたれました。
胸が苦しくなったり、泣きそうになったりと
いろんな感情があふれだしてきます。
とくに「肉がはがれ落ちた」とてもなくこわく
ゾッと身ふるいをしてしまう言葉です。
私はこの時代に生まれた。これは自分が思う
以上にとてもすばらしく幸せなことなのではない
か。話を聞いて強く思います。
ビデオを見て当時の様子などを見て、実際に
いた人の気持ちをはかり知れません。
胸がいたみます。池田義三はすごく
強くて、たくましい人だと思います。
それはビデオの話でもそうですが、何より
にげだそうとしなかった心の強さ
を感じ、すごくすばらしい人だと思いまし
た。いくら軍の命令だとしても人によっ
ては変わります。逆さけんたり、くるいあはれた
すかもしません。もし私だったらどうし
ていたのでしょうか。口では何とでも言えます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は表面に記入してください

戦後70年のテレビの特集などを
みて、原爆についてはある程度知
っているつもりでしたが実際に話を聞
いていると知らないことばかりでした
中でも、原爆投下都市の条件がある
ことや、原爆にパラシュートがついて
いなかったこと等には大変おどろき
ました。そして実体験を聞くことで原爆に
対しての恐怖や、戦争のない時代に
生まれた幸福さ、そして二度と同じ様
な出来事を絶対に起こしてはいけない
ということを改めて感じました。

また、被爆した人が助けを求めて、
さまよっている話はとても怖く、鳥肌が
たちばなして震えも止まりませんでした。
今回、特別授業を受講したことで
原子爆弾の本当の怖さと被爆者の
悲しみを知ることができました。

原爆先生、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/31

今日の原爆の話聞いて、私は、たまたたおどろくばかりでした。前からそのおそろしさは聞いていたけれど、やはり実体験ははるかに想像をこえてむじいものでした。なぜ人類はあのようなものをつくり出したのか。そしてなぜそれを使、たのか、私に疑問が残るばかりです。皮ふはやけどたれ、痛みにもかく、痛みなど感じずに一瞬にして消え去る。広島、長崎のあの時までの平和な日常はどうしてくれるのだろうか？あとに残された人々はどう生きていくのか？広島と長崎に残された人々はたくましく生き、そのおかげで私は今ここにいます。でも、こんな大変な思いなんてしなくてよかったです。ただでさえそれまでの戦争は大変な、心のこころ、苦い思いをみしめるばかりです。今に生きる私たちは、決してこの歴史をくり返してはならない。この日本の決意も核保有国に知ってもらいたいのです。15000発、この存在意義はなんなののでしょうか。実際に体験した人が減少している今、私たちは生の声を聞ける「最後の世代」とう世界を変えるレバーとなるか、どう後世に伝えていくのか、使命をたくされた思いであられます。自分の考えばかり書いてきました。が、今日の授業を受けて、できた決意は、「もうくり返さないこと」。この授業は世界が受けるべきだと思います。また、1人でも多くの方が広島や長崎に行、そのむじさを知してほしいです。私も行、たことかないので必ず行きたいと思います。今日のお話、世界を考えらさ、かけとなりました。ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

40/31

今日はわざわざぼくたちのために北田西小学校に来てくれて本当にありがとうございます。おかげでいろいろなことを知ることができました。原火暴先生は、最初に7000°Cの少年という意味は授業で分かるといっていたけど、今のぼくでは7000°Cというのは600m上空で起きた火暴風の温度なんだなということが分かりました。しかも、それはウラン(ウラン-235)60kgのなかのたった1kgだけでそのようなことをしたと聞いたときは、すごく恐ろしくてこれだけの威力があるかということが分かりました。

広島に投下された原火暴は「リトルボーイ」でパラシュートで投下させたのではなく重力をつかって投下させたといっていて、時速300km以上で横回転しながら落ちていたのだ。たった数秒で起こったことなんだなと思いました。そんな数秒を待たずに広島市民35万人のなかの14万人がせくなると聞いて体がゾクゾクになりました。昔にこんなことがあったんだなと新しく知ることができました。ビデオを二つ見させてもらって、実際の爆撃の音が何倍も大きいといっていたので、すごく怖かった。なのでこの授業をすることができて本当によかったです。と思いました。今日や、たことを他の人に伝えても、危険だということを広げたいと思いました。本当にありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、歴史的にしか、原爆について知りませんでした。しかし、この原爆先生の特別授業を受けて、歴史として、勉強するだけではなく、しっかり知ることが「必要だ」と思いました。体馬僉した人しか分からない、しっかりとした事実。これを広めていくべきだと思います。

太陽の表面温度より高い7000℃。これが、自分の600m上にいるということ。想像できないくらい、しょうげきを受けました。

それに、動画(1→目)を見て、多くの命が、いっしょんで消えていくことに対して、悲しいという感情より、原爆への怒りのほうが強くなりました。

そして、原爆ドームの映像を見て、このドームは、原爆からの



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

周りのことをしっかりと現ざい
まで見てきたと見い感動しま
した。

これから先このもうなことが二
度とないようにがんはっていきな
いと思いきま



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

わたしはこの原爆あまりというが、ぜんぜんしなくて、
原爆先生の言話を聞いて原爆のおそろしさか伝わって
きました。話を聞いてびっくりしたことは、アルファポルンくらの
大まてで広島をはめつてせうゆるとが、一番おどろきました。
そして、原爆先生の特別授業をうけて原爆のおそろしさの
おそろしさか、じつにのこりました。熱線・衝撃波・放射
線。このおそろしさで被爆者数24万人死者数14万人
を出したと思うと、よくおそろしく、かなしいと思いました。
そして、広島に投下された原爆「リトルボーイ」の中心の熱が100万℃。
その周りが7000℃で太陽の表面の熱より原爆の周りが
熱が強いことにおどろきました。ただおそろしいなと思いました。
そう考えると、今のわたしたちの生活が平和で幸せだとい
うことがあらためて分かりました。原爆先生の特別
授業をうけて原爆のことがいろいろわかりました。
わたしはこの授業をわすれずに知っておこうと思いました。
この世の中でこんなことがあったと思うとかなしいです。
原爆のきゆうふは実際に体験した人しかわかりません。
でも原爆の授業で生きていることの大切さを
あらためて感じました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

自分は原爆がどれほど恐ろしいか少ししっていた。
でもそれはほんのいち部だった。なので少ししか恐ろしい
ことを知ってなか、たばくは、ミサイルとか言、て遊、で
いた。だが特別授業を受講し、熱線の影響で人間
が炭や骨になってしまった時ゾクゾクして感じた。
2つ目 ウランはどれほどの爆発力があっていた。
その爆発力は石炭300丁分そんな恐ろしいウラ
ンを原子爆弾によってウラン1kgがもえたということは一
300x1000で石炭30万丁の爆発したのと同じくと思えば
どれほど恐ろしく、どれほど怖いかそして被爆者は
どれほどくるしく、泣いたり、そうぞうできる。そして
3つ目特別授業をうけた原爆によって大きなわ
けどをおっている人のモチーフの形みて池田義三
さんがきれいといっていたときその人形でも
もさんごんごでかあいそなのになんかきれ
いなのはとてもおどろきました。そしてこの
原爆先生の特別授業を通して、特別授
業の前にはわっていたミサイルとかきくとか
なくなっていく。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

和達は、実際に原爆を体験したこともないし、平和な
世で生きてるので、全て分かりきっているかのようにい
うことはできないが、気付いたことやとまどうこと
はたくさんある。まず、気付いたことは、「いま」の生
活がどれだけ幸せであるかということだ。たとえけ
んかしても相手が生きているということは当たり前の事
だ。しかし、アメリカの日本のけんか(戦争)は、生きてい
る事も前提にないし、ただ機械的に命令に従い、
人を殺せと教えられる、罪のない人たりを殺す。そんなこ
とをとめたくてもとめられなかった人たちや兵隊さん、
アメリカの兵隊さんもいたかもしれない。その人たち
や、亡くなられてしまった方、後遺症に苦しむ方のこと
を考えると、なぜだか胸の奥がちくりとするような気が
する。

どんなに広島で苦しんだ人がいたのだろうか。どんな
に広島が熱かっただろうか。どんなにもかいては
亡くなられてしまった方がいたのだろうか。和達は改めて戦
争の悲惨さ、残酷さを考えさせられた。これからの和
達はそれぞれの仕事で平和を維持していかなければならない。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆に関して知っていたのは8月6日と8月9日に、広島と長崎に原爆が落ちたということだけでした。でも原爆先生の話をきいたら私が想像していたよりけるかにひどく鳥はたかか
直ちました。私ははじめ「7000℃の少年」という意味は、原爆の温帯で7000℃になつてはた少年がくる、というふうにしてはたか
が、原爆先生の話を聞いて「7000℃の少年」の本当の意味が分かりました。それは、リトル・ボーイが、爆発したときの球体の外周の温度が7000℃だから、少年はリトルボーイ。私は原爆かどよめにひどいものかをくわしく
1から知れました。それは原爆先生が、丁寧に
おしえてくださったからだと思います。ま
昨日は、原爆のことをおしえてくださり、
ありがとうございます。原爆は忘れ
てはいけないものだと思っております。
たくさんの学校をまわつて原爆のことを
たくさんの人に伝えてください。